



3/22
(月)

汐見漁港水産基盤整備促進要望 水産業活性化に期待

3月22日、潟自治公民館の住民らが役場を訪れ、川添町長に汐見漁港の水産基盤整備促進に関する要望書を提出しました。

要望内容は養殖を行うための沖防波堤設置や浮棧橋設置、砂防堤延長などの整備です。この海域では、水産資源の減少や魚価低迷などの状況に直面しており、今後はヒオウギガイ養殖などの安定的な漁業活動で販路開拓や後継者不足解消を目指します。

尾崎誠館長が川添町長に要望書を手渡し「水産業が活性化し、後継者が増えれば」と期待しました。

本工事は令和3年度に測量設計され、4年度に工事着手。農林水産省の水産基盤整備事業を活用して、総事業費約16億円を投じて整備される予定です。



要望書を手渡す尾崎館長(写真左)

3/23
(火)

コロナワクチン接種開始 医療従事者115人接種

医療従事者向けの新型コロナウイルスワクチン接種が町内で3月18日から27日にかけてあり、最前線で治療にあたる医師や看護師ら115人が鷹巣診療所や高野医院、長島クリニックで接種を受けました。

22日は鷹巣診療所で役場の保健師ら5人が、事前に記入した予診票をもとに医師による問診が行われた後、米製薬大手ファイザー製ワクチンを接種しました。接種後は重いアレルギー反応のアナフィラキシー症状に備えて30分待機しました。

高齢者への接種は5月から始まる見通しです。



ワクチン接種を受ける保健師

3/24
(水)

町内の小中学校で卒業式 コロナ対策で学び舎に別れ

3月16日に中学校で、24日は小学校で卒業式があり、町内の小学生97人と中学生106人が親しんだ学び舎をあとにしました。

各校で新型コロナウイルス感染症対策が取られ、開催時間の短縮や在校生の出席を見合わせるなど規模を縮小しての実施となりました。

蔵之元小学校(肥後広行校長・57人)では、10人が卒業。肥後校長は卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡し「これからの自分の努力に感謝できる日が来るように生きて」と激励しました。卒業生全員による別

れの言葉では、保護者から温かい拍手が送られたほか、出席できなかった在校生による送る言葉の上映があり、涙をぬぐう卒業生の姿が見られました。



卒業証書を授与される卒業生